

熊本県感染症情報（第38週：9/15～9/21）

伝染性紅斑（リンゴ病）に注意しましょう

○今週（第38週）の報告数は108件（一定点あたり2.30）でした。5週連続で警報レベル（一定点あたり2.00以上）が継続しており、注意が必要です。

○伝染性紅斑は、小児に多い感染症です。微熱・かぜに似た症状がみられた後に、両頬に赤い発しんが現れます。また、妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、重篤な状態や流産のリスクとなる可能性があります。

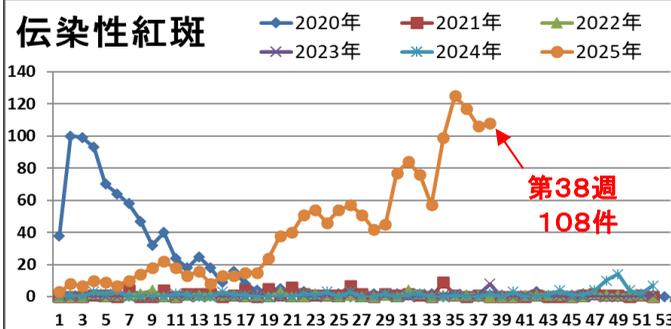
○飛沫・接触により感染しますので、「手洗い・手指の消毒」「マスク着用」など、基本的な感染症対策を心がけましょう。

梅毒に注意しましょう

○今週の報告数は3件で、今年累計で141件となりました。今年も高水準で推移しており、注意が必要です。

○熊本県では、HIV・梅毒検査を県保健所や、県が委託した医療機関で、匿名・無料で受けることができます。検査を受けたい方（熊本県内にお住まいの方（熊本市除く））は、まずはお近くの県保健所に御連絡ください。

【参考】HIV・梅毒検査が委託医療機関でも匿名・1,000円で受けられます
<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/30/216416.html>



1 定点把握対象疾患

※県内142定点医療機関からの報告数：9/15～9/21

定点	No.	疾患名	今週	前週
急性呼吸器感染症	1	インフルエンザ	↑ 106	93
	2	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	639	755
	3	急性呼吸器感染症(ARI)	3,144	3,885
小児科	4	RSウイルス感染症	16	30
	5	咽頭結膜熱	↑ 8	7
	6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	30	37
	7	感染性胃腸炎	191	280
	8	水痘	4	7
	9	手足口病	↑ 31	15
	10	伝染性紅斑 (リンゴ病)	↑ 108	106

定点	No.	疾患名	今週	前週
小児科	11	突発性発しん	↑ 30	25
	12	ヘルパンギーナ	9	15
	13	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	1	4
眼科	14	急性出血性結膜炎	0	0
	15	流行性角結膜炎 (はやり目)	↑ 12	8
基幹	16	細菌性髄膜炎	0	0
	17	無菌性髄膜炎	↑ 1	0
	18	マイコプラズマ肺炎	12	22
	19	クラミジア肺炎	0	0
	20	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0

※定点の右欄は、定点医療機関数。

【報告数の多い疾患】

※地区別：定点当たりの報告数が多い地域を順に記載

	疾患名	今週	前週	地区別			年齢別		
				1	2	3			
①	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	639件	755件	有明	天草	御船・宇城	10-14歳	86件	13.5%
②	感染性胃腸炎	191件	280件	有明	宇城	山鹿	1歳	35件	18.3%
③	伝染性紅斑(リンゴ病)	↑ 108件	106件	菊池	宇城	熊本	3歳	20件	18.5%

警報・注意報レベルの基準値（国の基準）20180926 時点

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

でんせんせいこうはん

伝染性紅斑

両頬に赤い発しん（紅斑）が出ることから「リンゴ病」とも呼ばれる小児に多い感染症です。



10～20日の潜伏期間の後
微熱・かぜに似た症状

この時期にウイルスの排出が最も多くなります。



こんな症状がみられます

ほっぺたがリンゴのように赤くなります（紅斑）

発しんが現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。発しんは1週間程度で消失しますが、中には長引いたり、一度消えた発しんが短期間のうちに再び出現したりすることがあります。

予防と対策



手洗い、マスク着用など
基本的な感染症対策を心がけましょう！

伝染性紅斑の主な感染経路は、「飛まつ感染」と「接触感染」です。こどもを感染から守るため、周囲の人も基本的な感染症対策を心がけましょう。

妊娠中又は妊娠の可能性のある方へ

これまで伝染性紅斑に感染したことがない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発しんが出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。また、感染しても症状がないこと（不顕性感染）もあるため、周囲に伝染性紅斑の人がいる場合は、妊婦健診の際に、医師に伝えてください。



詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください



【定点把握対象疾患の推移(過去7週)】

報告期間	第31週	第32週	第33週	第34週	第35週	第36週	第37週	第38週	第35週	第36週	第37週
	7週前	6週前	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週	全国3週前	全国2週前	全国1週前
	7/28~8/3	8/4~8/10	8/11~8/17	8/18~8/24	8/25~8/31	9/1~9/7	9/8~9/14	9/15~9/21	8/25~8/31	9/1~9/7	9/8~9/14
インフルエンザ	12	9	5	15	21	53	93	106	1,347	1,949	2,732
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	0.17	0.13	0.07	0.21	0.30	0.74	1.29	1.49	0.35	0.50	0.72
急性呼吸器感染症(ARI)	690	776	600	906	901	857	755	639	32,197	31,329	31,831
RSウイルス感染症	9.58	10.78	8.33	12.76	12.69	11.90	10.49	9.00	8.37	8.12	8.43
咽頭結膜熱	3.639	3.804	2.456	3.422	3.544	3.882	3.885	3.144	191,135	207,429	229,689
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	50.54	52.83	34.11	48.20	49.92	53.92	53.96	44.28	49.75	53.92	59.83
感染性胃腸炎	7	10	11	14	30	33	30	16	3,013	3,896	3,781
水痘	0.15	0.21	0.23	0.30	0.64	0.69	0.63	0.34	1.28	1.66	1.65
手足口病	13	6	10	6	9	5	7	8	589	736	677
伝染性紅斑	0.27	0.13	0.21	0.13	0.19	0.10	0.15	0.17	0.25	0.31	0.29
突発性発しん	37	49	20	42	40	42	37	30	3,695	4,109	4,312
ヘルパンギーナ	0.77	1.02	0.42	0.89	0.85	0.88	0.77	0.64	1.58	1.75	1.88
流行性耳下腺炎	226	260	105	222	215	285	280	191	10,159	10,963	11,033
急性出血性結膜炎	4.71	5.42	2.19	4.72	4.57	5.94	5.83	4.06	4.33	4.66	4.81
細菌性髄膜炎	8	13	7	21	6	7	7	4	457	509	444
無菌性髄膜炎	0.17	0.27	0.15	0.45	0.13	0.15	0.15	0.09	0.19	0.22	0.19
マイコプラズマ肺炎	13	19	7	11	14	16	15	31	1,199	1,337	1,360
クラミジア肺炎	0.27	0.40	0.15	0.23	0.30	0.33	0.31	0.66	0.51	0.57	0.59
伝染性紅斑(リンゴ病)	84	76	57	99	125	117	106	108	4,754	4,323	3,846
ヘルパンギーナ	1.75	1.58	1.19	2.11	2.66	2.44	2.21	2.30	2.03	1.84	1.68
流行性角結膜炎	21	32	18	35	17	31	25	30	771	816	772
細菌性髄膜炎	0.44	0.67	0.38	0.74	0.36	0.65	0.52	0.64	0.33	0.35	0.34
無菌性髄膜炎	152	73	35	24	10	10	15	9	2,788	2,464	2,236
マイコプラズマ肺炎	3.17	1.52	0.73	0.51	0.21	0.21	0.31	0.19	1.19	1.05	0.97
クラミジア肺炎	3	1	0	0	3	2	4	1	112	88	125
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.02	0.00	0.00	0.06	0.04	0.08	0.02	0.05	0.04	0.05
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	12
流行性角結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.02
細菌性髄膜炎	10	6	8	13	14	11	8	12	754	761	752
無菌性髄膜炎	1.11	0.75	0.89	1.44	1.56	1.22	0.89	1.33	1.08	1.09	1.11
マイコプラズマ肺炎	0	1	0	0	0	1	0	0	6	12	6
クラミジア肺炎	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00	0.01	0.02	0.01
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	1	1	1	0	1	0	1	32	29	16
急性出血性結膜炎	0.00	0.07	0.07	0.07	0.00	0.07	0.00	0.07	0.07	0.06	0.03
流行性角結膜炎	24	29	17	23	25	18	22	12	504	467	523
細菌性髄膜炎	1.60	1.93	1.13	1.53	1.67	1.20	1.47	0.80	1.05	0.97	1.10
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	5
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	3
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.01

※ 上段:患者数、下段:定点一医療機関当たりの患者報告数

【全国より一定点当たり2倍以上(3週連続)多い感染症】 【大きな流行が発生又は継続しつつある地域(保健所)】

(※全国の流行状況の情報還元に時間差があるため、全国の情報は1週間までの内容になります。)

伝染性紅斑(リンゴ病) : 熊本市、菊池、水俣、宇城

なし

2 全数把握対象疾患

疾患名	今週	R7累計	
2類感染症 結核	3	153	
3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	1	58	
4類感染症 レジオネラ症	4	29	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	11
	梅毒	3	141
	播種性クリプトコックス症	1	2
	百日咳	12	910

※当該週以外の週で、報告遅れや取下げがあるため、R7累計報告数は増減します。報告があった疾患のみ記載しています。

3 病原体検査情報

※県保健環境科学研究所で病原体検査を実施した結果を記載しています。

季節性インフルエンザではどのウイルスタイプが主流かといった傾向を示しています。

○インフルエンザウイルス検出状況(PCR検査結果) ※2024/25シーズン(R6.9/2~)の累計

	A型			B型
	季節性 H1 pdm (AH1 pdm09)	H1 (ソ連型)	H3 (香港型)	
(今シーズン累計)	0件	0件	0件	0件
(昨シーズン累計)	3件	0件	1件	0件

○呼吸器疾患病原体検出状況 ※第1週(R6.12/30~)からの累計

ライノウイルス	RSウイルス	ハライノフルエンザウイルス	ヒトメタニューモウイルス	コロナウイルス	エンテロウイルス
21件 (11件)	3件 (0件)	8件 (6件)	6件 (0件)	4件 (0件)	2件 (0件)
アデノウイルス	その他				
11件 (0件)	6件 (0件)				

(※かっこ内は昨シーズン累計)

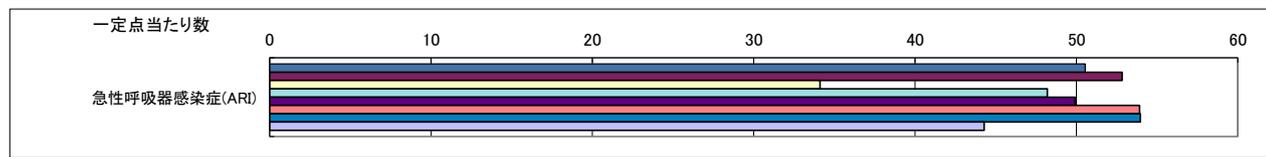
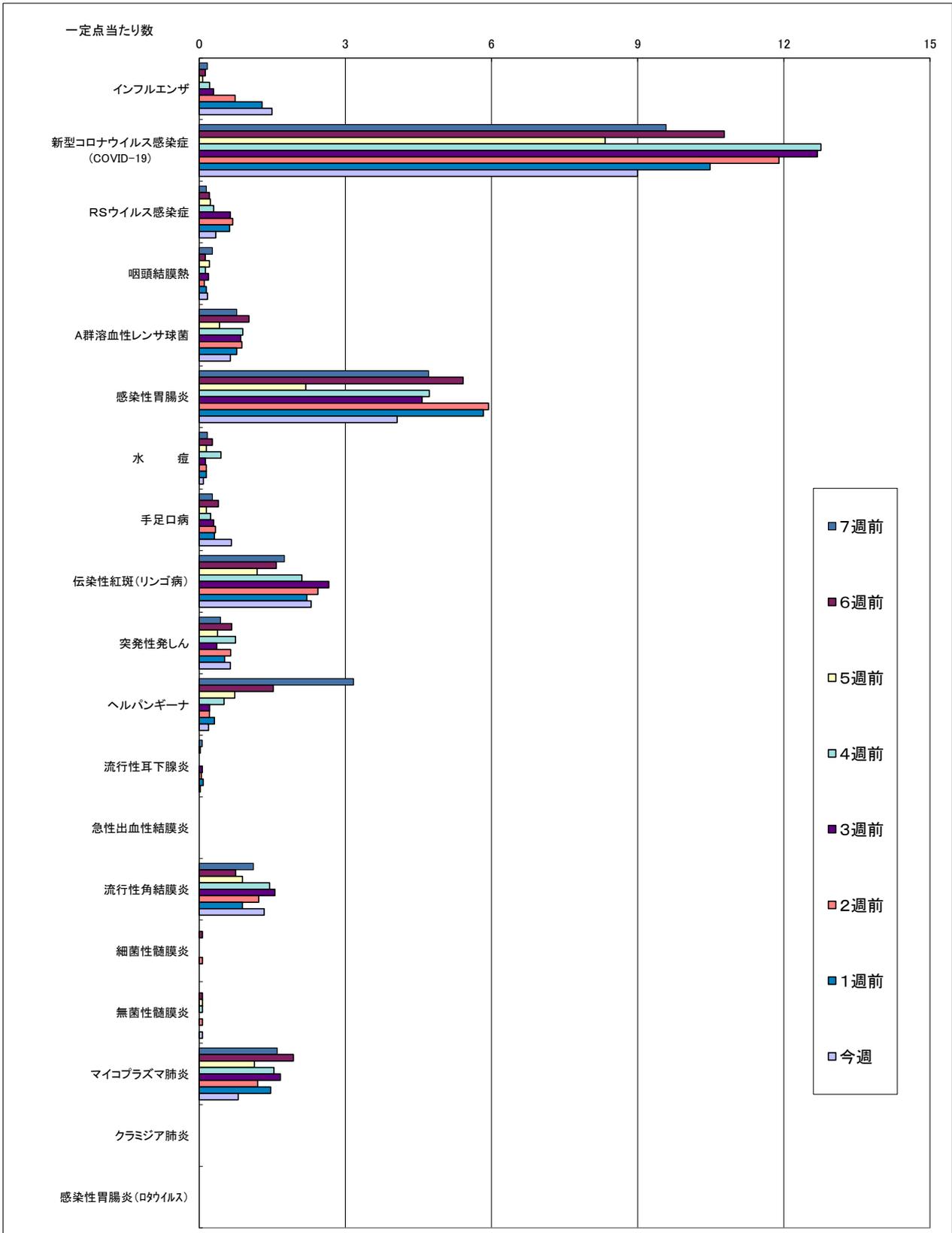
○感染性胃腸炎病原体検出状況 ※第1週(R6.12/30~)からの累計

ノロウイルス	サボウイルス	ロタウイルス	アストロウイルス	アデノウイルス	その他
0件 (1件)	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)

(※かっこ内は昨シーズン累計)

【週報に関するお問い合わせ先】
健康危機管理課 感染症対策班 直通電話:096-333-2240 (内33154)

一定点当たり週別発生状況の推移



保健所別発生状況（急性呼吸器感染症・小児科・眼科・基幹定点）

保健所名	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	急性呼吸器感染症 (ARI)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑 (リンゴ病)	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)
1 熊本市保健所	6	180	1,086	11	1	7	44	2	10	49	17	0	0	0	6	0	1	9	0	0
2 山鹿保健所	1	21	52	0	0	1	11	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 菊池保健所	7	65	470	0	1	3	26	1	4	27	1	3	1	0	5	0	0	0	0	0
4 阿蘇保健所	25	11	51	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 御船保健所	4	55	253	0	0	0	13	0	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
6 八代保健所	42	43	313	0	1	3	1	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 水俣保健所	3	14	91	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
8 人吉保健所	1	45	220	0	1	2	4	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
9 有明保健所	1	94	397	0	0	4	57	0	12	1	7	3	0	0	1	0	0	0	0	0
10 宇城保健所	13	55	123	5	4	8	31	0	1	19	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11 天草保健所	3	56	88	0	0	2	1	0	1	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
計	106	639	3,144	16	8	30	191	4	31	108	30	9	1	0	12	0	1	12	0	0

保健所別 一定点当り患者報告数（急性呼吸器感染症・小児科・眼科・基幹定点）

保健所名	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	急性呼吸器感染症 (ARI)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑 (リンゴ病)	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)
1 熊本市保健所	0.26	7.83	47.22	0.79	0.07	0.50	3.14	0.14	0.71	3.50	1.21	0.00	0.00	0.00	1.20	0.00	0.20	1.80	0.00	0.00
2 山鹿保健所	0.50	10.50	26.00	0.00	0.00	0.50	5.50	0.50	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3 菊池保健所	1.00	9.29	67.14	0.00	0.20	0.60	5.20	0.20	0.80	5.40	0.20	0.60	0.20	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
4 阿蘇保健所	8.33	3.67	17.00	0.00	0.00	0.00	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
5 御船保健所	0.80	11.00	50.60	0.00	0.00	0.00	4.33	0.00	0.00	1.33	0.00	0.33	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
6 八代保健所	6.00	6.14	44.71	0.00	0.25	0.75	0.25	0.00	0.00	0.50	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7 水俣保健所	1.50	7.00	45.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00
8 人吉保健所	0.20	9.00	44.00	0.00	0.33	0.67	1.33	0.00	1.00	0.33	0.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
9 有明保健所	0.14	13.43	56.71	0.00	0.00	0.80	11.40	0.00	2.40	0.20	1.40	0.60	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
10 宇城保健所	2.60	11.00	24.60	1.25	1.00	2.00	7.75	0.00	0.25	4.75	0.25	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
11 天草保健所	0.60	11.20	17.60	0.00	0.00	0.50	0.25	0.00	0.25	0.75	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均	1.49	9.00	44.28	0.34	0.17	0.64	4.06	0.09	0.66	2.30	0.64	0.19	0.02	0.00	1.33	0.00	0.07	0.80	0.00	0.00

年齢別発生状況(急性呼吸器感染症・小児科・眼科・基幹定点)

令和7年第38週

急性呼吸器感染症定点 年齢区分	合計	0-5 カ月	6-11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14 歳	15-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80歳 以上
インフルエンザ	106	0	0	0	0	3	2	1	4	6	5	7	24	21	4	2	9	4	5	7	2
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	639	6	8	18	8	14	9	18	14	14	16	7	86	53	37	51	61	56	60	50	53

急性呼吸器感染症定点 年齢区分	合計	0歳	1~4 歳	5~9 歳	10~ 14歳	15~ 19歳	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70~ 79歳	80歳 以上
急性呼吸器感染症(ARI)	3,144	180	1,067	667	350	112	96	120	119	106	106	112	109

小児科定点年齢区分	合計	0-5 カ月	6-11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14 歳	15-19 歳	20歳 以上
RSウイルス感染症	16	2	2	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
咽頭結膜熱	8	0	2	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
A群溶連菌咽頭炎	30	0	0	4	0	2	0	5	2	3	1	5	8	0	0
感染性胃腸炎	191	4	20	35	21	13	7	14	10	7	4	8	25	5	18
水痘	4	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0
手足口病	31	0	7	15	1	3	2	2	0	0	0	1	0	0	0
伝染性紅斑(リンゴ病)	108	0	1	7	8	20	19	16	17	5	7	6	1	0	1
突発性発疹	30	1	7	17	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	9	0	0	1	1	2	0	1	0	1	0	0	3	0	0
流行性耳下腺炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

眼科定点年齢区分	合計	0-5 カ月	6-11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14 歳	15-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70歳 以上
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	12	0	0	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	1	0	2	1	1	1	1

基幹定点年齢区分	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14 歳	15-19 歳	20-24 歳	25-29 歳	30-34 歳	35-39 歳	40-44 歳	45-49 歳	50-54 歳	55-59 歳	60-64 歳	65-69 歳	70歳 以上
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	12	0	2	8	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等について(第38週:9/15 ~9/21)

令和7年(2025年)9月25日(木)
熊本県 健康危機管理課

1 学級閉鎖について

No	所在地	施設名	措置種別	学年	措置した学級数 /学年の総組数	休校	学年閉鎖	学級閉鎖	在籍数	患者数	欠席数	措置の期間			備考
1	熊本市	熊本市立白山小学校	学級	1	1/3	—	—	1	27	14	14	9月17日	~	9月20日	1年1組
2	小国町	小国高等学校	学級	1	1/2	—	—	1	25	14	14	9月18日	~	9月20日	1年1組
			—	—	—	0	0	2	52	28	28				

2 学校の休業等に係るインフルエンザ様疾患の発生状況（2025～2026シーズン）

期間	第36週 (9/1～9/7)	第37週 (9/8～9/14)	第38週 (9/15～9/21)	合計	
合計（人数）	22	69	28	119	
保健所別	熊本市	0	7	14	21
	有明	0	0	0	0
	山鹿	0	0	0	0
	菊池	0	0	0	0
	御船	0	0	0	0
	阿蘇	22	46	14	82
	宇城	0	0	0	0
	八代	0	16	0	16
	水俣	0	0	0	0
	人吉	0	0	0	0
天草	0	0	0	0	
昨年同期	0	0	0	0	

※学校等からの届出があった日でカウントしています。

県内のインフルエンザの発生状況は、県のホームページに掲載しております（毎週更新）。

本書の情報はあくまで速報値です。

○インフルエンザの予防方法は

- ・咳エチケットを守りましょう。
- ・できる限り人混みを避けましょう。
- ・こまめに石けんを使用して丁寧に手洗いをしましょう。
- ・十分な栄養、休養、睡眠を心がけましょう。



○「せき」や「くしゃみ」で出るしぶきで、ウイルスが広がります。

- ・「せき」や「くしゃみ」が出る時は、マスクを着用しましょう。
- ・マスクをしていない場合は、「せき」や「くしゃみ」をする際は、ティッシュなどで口や鼻を押さえ、顔をそむけましょう。
- ・使用後のティッシュや使い捨てマスクは、すぐにゴミ箱に捨てましょう。